

H26年度 技術開発懇談会 (長岡会場)

本学と地域社会との連携・交流を深め、より積極的な技術開発等の推進に貢献することを目的に開催いたします

第1回

7月17日(木)

18:00 ~ 20:00

ニュー大黒ビル
6階会議室

「ヒト幹細胞を用いた
次世代の医療・創薬」



生物系 准教授
大沼 清

第2回

10月15日(水)

18:00 ~ 20:00

ニュー大黒ビル
6階会議室

「老朽化する橋梁の
先進的な維持管理技術」



環境・建設系 准教授
宮下 剛

第3回

11月14日(金)

18:00 ~ 20:00

ニュー大黒ビル
6階会議室

「レーザーと粒子ビームの
発生と応用」



電気系 助教
高橋 一匡

- 参加対象者 地元の産・官・学の研究者、技術者、経営者等
- 募集人数 各回20人程度
- 参加費 2,000円(開催日当日、受付にてお支払いください)
- 申込方法 各開催日の3日前までに電話・FAX・メールにてお申し込みください
- その他 懇談会には軽い食事をご用意いたしております

★お問合せ先

長岡技術科学大学
産学・地域連携課 産学・地域連携係
TEL:0258-47-9278 FAX:0258-47-9040
E-mail:sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

第1回

ヒト幹細胞を用いた次世代の医療・創薬

生物系 准教授 大沼 清

少子高齢化社会の到来と共に、医療や創薬分野の発展が急務となっています。そんな中、ヒト iPS 細胞を用いた再生医療応用やオーダーメイド創薬が注目されています。

今回はまず、ヒト iPS 細胞とは何か？ ES 細胞とは何が違うのか？などの基本的な事をわかりやすく説明します。その後、医療・創薬への応用例や、そのために開発された機械などを紹介します。

第2回

老朽化する橋梁の先進的な維持管理技術

環境・建設系 准教授 宮下 剛

中央自動車道の笹子トンネル天井板崩落事故のように、社会インフラの老朽化にともなう事故が顕在化しています。社会インフラの一つである橋梁に目を向けると、全国の橋梁数は約 70 万橋あり、このうち、建設後 50 年を超えた橋梁 (2m 以上) の割合は、現在は 18% ですが、10 年後には 43%、20 年後には 67% へと増加します。ここでは、効果的で効率的な補修・補強技術や安全監視技術といった維持管理技術が求められています。

今回は、社会インフラである橋梁を取り巻く現状を紹介するとともに、鋼橋の腐食部位を炭素繊維シートで補修・補強する新たな工法、実橋梁の先進的な安全監視技術などについて説明します。

第3回

レーザーと粒子ビームの発生と応用

電気系 助教 高橋 一匡

指向性を持った粒子の流れであるビームは時間的、空間的にエネルギーを集中させることで大きなパワーを生み出すことができます。レーザーや粒子ビームは材料表面の加工や分析、材料の薄膜形成や溶接などの産業応用をはじめとして、医療や物理の探求など幅広い分野で利用されています。我々の研究グループではレーザーやパルスパワーにより生成したイオンや電子ビームの応用を目指した研究を進めております。

今回はレーザーや粒子ビームの発生や応用方法、最近の研究について紹介します。

平成26年度 技術開発懇談会申込書

申込先：長岡技術科学大学 産学・地域連携課

FAX: 0258-47-9040

TEL: 0258-47-9278

E-mail: sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

下記に所要事項をご記入ください。参加番号欄は、参加を希望する開催回（複数可）を○で囲んでください。

会社・部署名				加入団体等 (○で囲んでください)
住所				一般申込・財団賛助会員・協力会会員・技術者協会会員・N A Z E 会員
連絡先 (代表者)	tel	-	-	e-mail
氏名 (1) (代表者)			氏名 (2)	
参加番号	1	・ 2	・ 3	参加番号 1 ・ 2 ・ 3